

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(豊里中学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学	英語
豊里中	65%	45%	35%
埼玉県	71%	52%	46%
全国	69.8%	51.0%	45.6%

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	豊里中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	90.7	91.5	91.2
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	76.7	79.5	78.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	97.7	91.5	91.3
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	7.0	6.8	8.1
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	53.5	57.8	55.0
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	65.2	74.2	69.2
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	81.4	83.6	79.2
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	60.5	71.5	65.8
教科への関心	国語の勉強は好きだ	51.1	61.8	61.4
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	86.0	90.0	88.7
	数学の勉強は好きだ	53.5	56.5	56.7
	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	83.8	75.4	75.8
	英語の勉強は好きだ	79.1	89.3	88.0
	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	32.6	36.8	36.7
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.4	83.6	79.2
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	67.5	70.1	62.1
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	65.1	75.5	69.1
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	81.4	83.6	79.7
その他	自分には、よいところがあると思う	79.0	82.4	80.0
	将来の夢や目標をもっている	76.7	67.8	66.3
	人の役に立つ人間になりたいと思う	97.7	94.5	94.6
	今住んでいる地域の行事に参加している	53.5	36.1	38.0

【質問紙分析】

- ・「将来の夢や希望がある」と答えた生徒の割合が県や全国と比較して高い。
- ・地域の行事に参加している生徒の割合が県や全国と比較して高い。
- ・生徒はICTに有用感を持っている一方で、授業でICTを使う場面が少ない。
- ・平日と休日の学習習慣が定着していない生徒が多い。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- 無答率は低い傾向にあった。
- 言葉の意味や歴史的仮名遣いは高い傾向にあった。
- 文章の内容をまとめて、別の言葉に置き換える語彙力や知識量が少ない。本文に載っている言葉をすぐに使う傾向にある。
- 文章の表現の仕方をとらえることが低い傾向にある。

【数学】

- 記号問題での無回答率が低かった。
- 度数分布表から累積度数を求める問題や、四分位範囲を求める問題の正答率が比較的高く、数学の用語と意味を理解している。
- 記述問題での無回答率が高い。
- 三角形の合同の証明から錯角を用いて、平行になることを証明する問題に対して、平行四辺形になる条件を使って証明してしまう生徒が数名いた。証明の書き方は理解していても、問題の意味を正しく読み取っていない可能性がある。
- 関数領域の正答率が低く、比例、反比例、一次関数の x と y の関係性を理解できていない。
- 2つの一次関数を比較し、数学の用語を使って説明することができていない。

【英語】

- 4技能の内、聞く問題(リスニング)の正答率が高い。
- 絵を見て答える問題に対する正答率が高い。
- 単語力をつける。
- 自分の意見を考え、英文にする力をつける。
- 長文問題への取り組み。

【国語】

- ・毎時間、言葉や漢字練習することで、語彙力・漢字の定着を目指す。
- ・言葉の変換などを、自分の考えや思いを書く時にも意識した授業展開を行う。
- ・表現技法などを文章の時にも取り上げて、表現の仕方に触れる。
- ・文章の内容をまとめる活動やほかの人の意見をまとめる活動の機会を設定する。
- ・学力向上プロジェクトを通して、繰り返し問題に取り組むことで「分かる」「できる」感覚を生徒につかませ、前向きな気持ちで学習に取り組めるよう学力向上担当と教科担任が連携・協働する。

【数学】

- ・実生活の場面と数学の学習を結びつけるような課題をさらに開発できるようにする。
- ・関数領域の表、式、グラフの関連付けをする指導を各学年の関数領域の中で継続していく。
- ・意図的に文章問題を取り入れ、問題の意味を理解してから解くように指導する。
- ・数量関係を表やグラフを用いて対比させ、数学の用語を使って自分の言葉で書く時間を増やす。
- ・学力向上プロジェクトを通して、繰り返し問題に取り組むことで「分かる」「できる」感覚を生徒につかませ、前向きな気持ちで学習に取り組めるよう学力向上担当と教科担任が連携・協働する。

【英語】

- ・曜日や月、天気など基本的な英単語の読み書きができるよう指導し、さらに教科書に出てくる新出単語の小テスト等を繰り返し行い、単語力を養う。
- ・「読みトレ100」を毎回の授業内で活用し、読む力の向上に繋げる。
- ・I agree with～.やI think that～.など自分の意見を述べる際に必要な表現を指導する。
- ・生徒の中から Good model を選び、全体で共有する。まねさせる。
- ・過去問を積極的に取り組ませ、問題の傾向をつかませる。

【その他】

- ・授業の中で ICT が効果的に使える場面で使えるよう、校内研修の頻度を増やす。同時に、生徒の情報モラル教育の充実を図る。
- ・家庭での学習の必要感を出すために、各教科で小テストの頻度を上げる。